



## 湾岸・アラビア半島地域ニュース

### イラン：モッタキ外相のイラク訪問

(10月31日付 IRNA)

10月31日、モッタキ外相はイラクを訪問し、ジバーリ・イラク外相と会談した。

#### 1. モッタキ外相の発言

- (1) イランは、イスタンブールで開催されるイラク周辺国会合において、イラクの安定と治安回復に向けた「行動計画」を提起する予定であり、現在、同「行動計画」を出席国へ提示し見解を聴取している。同「行動計画」の内容は現在出席国と検討中であるが、イラクの平和と安定の回復に向けた実践的且つ明確なアプローチに焦点を置くものとなる。イランはイスタンブール会合においてイラク情勢に関する包括的な報告を行うと共に、自らの懸念を出席国に表明する予定である。
- (2) (PKK問題に関し)自分は、トルコ及びシリアとの協議についてイラク側に説明した。我々は、テロは地域全ての国の問題であるという点でイラク側と一致した。テロとの戦いで地域協力が行われなければならない。
- (3) MKO(注：ムジャヒディーン・ハルク、イラクを拠点とするイランの反体制武装組織)は、米国の圧力及びブルガリア部隊の庇護の下でバグダード周辺の駐屯地に存在している。我々は、MKOをイラク領から排除するとのイラク政府及びイラク国民議会の決定を歓迎し、同決定がイラク国民により一刻も早く実施されることを期待する。
- (4) (エルビルで拘束されたイラン外交官に関し)イラン外交官の拘束は米国のイラクにおける戦略的過ちであった。同外交官解放の責任はイラク政府にある。イランは同外交官解放に向け、あらゆる措置を講ずる用意がある。
- (5) (イラクに関するイラン・米協議に関し)これまで述べている通り、同協議は、イラク国民を助け、イラクの安定と治安の回復をもたらすものでなければならない。

#### 2. ジバーリ外相の発言

- (1) モッタキ外相との会談は透明で成果があった。ペジャック(注：イランのクルド系武装組織)や PKK 等の組織の活動は地域諸国の利益に反するものであり、イラク政府は近隣諸国の平和と安定を損なう武装テロ組織の活動を阻止する。イスタンブール会合では、イラク問題、イラク政府・国民に対する支持というテーマに集中すべきである。
- (2) 中断されたイラクに関するイラク・イラン・米の三カ国会合について、我々は協議再開に向け調整を行うことで合意した。第4回協議が近い将来に実施されることを希望する。
- (3) (トルコとの危機に関し)イラク政府の問題解決に向けた真剣な努力は対応策を実施する局面に達している。PKK への緊急措置の阻止及び PKK のトルコ領内住宅地への侵入阻止のためのチェックポイント及び国境管理の拡大などである。
- (4) (アラブ連盟会合に関し)アラブ連盟は、イラク領土及び国家的統一性を脅かす現在の情勢に関し、統一の立場を採択する予定である。イスタンブール会合においても現在の情勢が検討され、協力の精神及び平和的に解決されるべきとの点が強調される予定である。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799